

# イヴニングサロン

夕暮れのひとときを楽しむ、博物館展示室でのミニコンサート。  
 素敵な楽器と音楽に包まれて、リラックスしてみませんか。

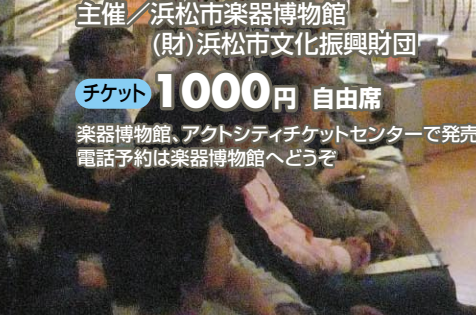
会場/楽器博物館天空ホール(展示室地下)

定員/100名

主催/浜松市楽器博物館  
 (財)浜松市文化振興財団

チケット **1000円** 自由席

楽器博物館、アクトシティチケットセンターで発売  
 電話予約は楽器博物館へどうぞ



## 5/30(月) サロンでタンゴ 天空ホールに響く魅惑のアルゼンチン・タンゴ。その情熱の調べに酔いしれる...

[チケット発売 3/30]



宮沢由美 (ピアノ)

みやざわゆみ  
 神奈川県横浜市出身。国立音楽大学音楽学部器楽科ピアノ卒業。ピアノを松原緑、織田英子氏に師事。1998年、日経修好100年祭に出演。2000年、沖繩サミット支援イベント「WORLD MUSIC FESTA 2000」に出演。1999年より「オルケスタティピカ・パンパ」のメンバーとなる。「チコス・デ・パンパ」のバンドリーダー。

北村 聡 (バンドネオン)

きたむらさとし  
 関西大学文学部中退。大学在学中にバンドネオンに出会い、小松亮太に師事。アルゼンチンに短期留学しフリオ・パネ、オラシオ・ロモのレッスンを受ける。またオルケスタ・エスクエラ・デル・タンゴに参加し学び、大型タンゴグループ「エスキーナ・デル・カルロス・ガルデル」や「チェ・タンゴ」に出演。2003年、バンドネオンの最高峰、レオポルド・フェリコの日本ツアーに参加。2007年、チリのバルパライソで行われた世界タンゴサミットに、またミゲル・バルベロー・ロ・エステートのメンバーとしてモントル・オルタンゴフェスティバルに出演。2008年より「オルケスタティピカ・パンパ」のメンバーとなる。

永野亜希 (ヴァイオリン)

ながのあき  
 高知県高知市出身。1993年渡米。ボストンのニューイングランド音楽院に入学し、ディプロマコースの修了に伴い1998年に帰国。1994、95年、レナード・パース・タイン提唱PMF(パン・フィク・ミュージック・フェスティバル)に参加。1996年、ドイツで開催されたシェレスヴィヒ・ホルシュタイン・ミュージック・フェスティバルに奨学金を得て参加。2001年より「オルケスタティピカ・パンパ」のメンバーとなる。

佐藤洋嗣 (コントラバス)

さとうようじ  
 東京都三鷹市出身。東京音楽大学器楽科卒業。コントラバスを今野京、吉田秀氏に師事。2000年、「コンボージム2000」にエレクトリックベースで出演。2005年、PMF(パン・フィク・ミュージック・フェスティバル)に参加。2007年6月、メキシコのミョアカン州立現代音楽祭に出演。2005年より「オルケスタティピカ・パンパ」のメンバーとなる。

プログラム ●ラ・クンパルシータ ●エル・チョクロ ●カナロ・エン・パリ ほか

演奏 **チコス・デ・パンパ**  
 (北村 聡 永野亜希 宮沢由美 佐藤洋嗣)

チコス・デ・パンパ CHICOS DE PAMPA  
 大編成アルゼンチンタンゴ楽団「西塔祐三とオルケスタ・ティピカ・パンパ」の有力な若手メンバーにより結成される。バンドネオン、ヴァイオリン、ピアノ、コントラバスによる4人編成のアルゼンチンタンゴバンド。「リズムの王様」と呼ばれたファン・タリエンツ楽団のスタイルを継承し、パワフルで歯切れの良いビートとシャープな演奏が特徴的。典型的なアルゼンチンタンゴの正統なスタイルを受け継ぎながらも、新鮮みに溢れ、高い演奏技術とアンサンブルの良さに定評がある。東京を中心に全国各地で演奏活動を行ない、「七ヶ浜国際村インターナショナルフェスティバル2007アルゼンチン」、「浜松市楽器博物館レクチャーコンサート」等に出演。2006年より「神奈川チャリティコンサート」に毎年出演し、好評を得ている。現在、東京・目黒の「ブルース・アレイ・ジャパン」にて年3回のペースで定期ライブを行うほか、伝統的なアルゼンチンタンゴの魅力を様々な人々に体感してもらえよう、精力的にライブ、コンサートを行っている。  
 ホームページ <http://chicos-de-pampa.net/>

## 6/6(月) 魅惑のショパン~バラード&ノクターン

[チケット発売 4/6]



河合優子

かわいゆうこ  
 日本を代表するショパンのスペシャリスト。愛知県岡崎市出身。愛知県立芸術大学卒業。同大大学院修了。在学中、来日した20世紀最大のショパンの権威、ヤン・エキエル教授(1913~)に演奏を認められ、大学院修了と同時に渡欧。ポーランド国立ワルシャワ・ショパン音楽院(現ショパン音大)研究科修了。1995年マリー・エンバート・ショパン国際ピアノ・コンクール(チェコ)第3位入賞。同年10月、第13回ショパン国際ピアノ・コンクールの特別リポルタージュ番組が大きな反響を呼び、翌年のポーランド全国リサイタルツアーをきっかけに演奏活動に入る。「スラヴの魂を持つ日本人」「ユウ・カワイの演奏会は真の芸術的イベントであった」「彼女はショパンの思っていたように弾くことができる」と評される。CDも多数。「レコード芸術」では「能に通じる品格のある静けさや簡素な美しさ、スラヴ的なダイナミズムとリリシズムの融合」「透徹したリリシズムはバグッティに匹敵」などの評を得ている。21世紀初頭より世界で初めてナショナル・エディションに基づくショパン全曲演奏会(ひとりのピアニストによる)をおこなっている。ワルシャワ在住。

プログラム ●ノクターン第9番 口長調 作品32-1  
 ●バラード第1番 短調 作品23  
 ●バラード第2番 長調 作品38  
 ●バラード第3番 変イ長調 作品47  
 ●バラード第4番 短調 作品52 ほか

演奏 **河合優子**



エラール・ピアノ 1869年 パリ

## 6/13(月) バッハ~無伴奏チェロ組曲

[チケット発売 4/6]

チェロ音楽の金字塔《無伴奏チェロ組曲》から1番、3番、6番の豪華プログラム、6番は楽器博物館所蔵の名器1720年頃イタリア、ヴェネツィアのゴフリラー作ピッコロ・チェロで聴いていただく。



武澤秀平

たけざわしゅうへい  
 東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て同大学器楽科チェロ専攻卒業。同声会賞受賞。新日本フィルハーモニー交響楽団フォーシュビラー。また、ヴィオラ・ダ・ガンバ奏者。これまでにザ・バロック・バンド、オーケストラ・シンボニオン、バッハ・コレギウム・ジャパン、ロゴス・アポカルプシス等、古楽器の演奏会に多数参加。チェロを崎野敏明、山崎伸子の各氏に、ヴィオラ・ダ・ガンバを福沢宏氏に師事。「E.A.S.T.」、「Ensemble Les Nations」、「ザ・ロイヤルコンサート」メンバー。

プログラム  
 ●無伴奏チェロ組曲 第1番 長調 BWV1007  
 ●無伴奏チェロ組曲 第3番 長調 BWV1009  
 ●無伴奏チェロ組曲 第6番 長調 BWV1012

演奏 **武澤秀平**



チェロ

ピッコロ・チェロ